

7. 4 太陽光発電リサイクル技術開発プロジェクト

平成 26 年度から新たに「太陽光発電リサイクル技術開発プロジェクト」を開始した。太陽電池モジュールの種類に応じた専用の分解工程とすることによる処理コスト削減、有価物の回収率向上、及び高品位の状態での回収を可能とする技術開発等を行う計画である。さらに、撤去・回収関連技術等、使用済み太陽光発電システムの適正処分を実現する技術開発にも着手し、リサイクルに関する社会システム構築に貢献することを目指している。

当該プロジェクトの開発課題と成果適用のイメージを図 7-4 に、今年度開始した事業を表 7-3 に、具体的実施事業の一例を図 7-5 に示す。

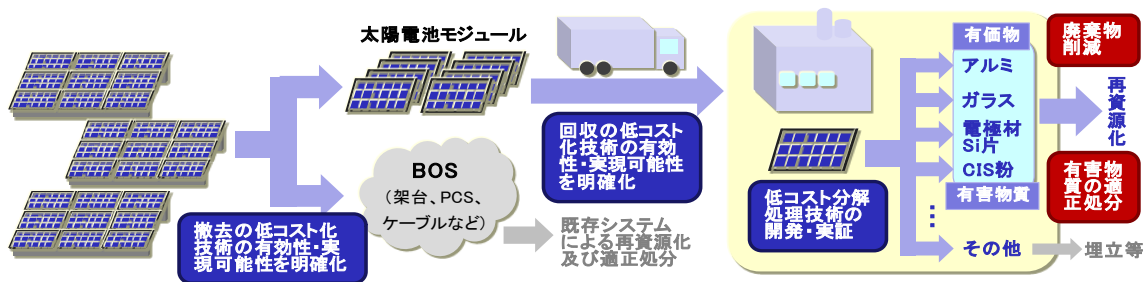


図 7-4 「太陽光発電リサイクル技術開発プロジェクト」の開発課題と成果適用イメージ

出典： NEDO 作成

表 7-3 太陽光発電リサイクル技術開発プロジェクトの実施事業と実施者

() 内が実施者。

- ・使用済み太陽光発電システムのリサイクル処理を安定的に実施するための課題調査（イー・アンド・イーソリューションズ株式会社、DOWA エコシステム株式会社、一般財団法人秋田県資源技術開発機構）
- ・廃棄物として排出される太陽電池モジュールの効率的な回収システム及び、分別に関する調査／検討（萬世リサイクルシステムズ株式会社）
- ・結晶シリコン太陽電池モジュールのリサイクル技術開発（三菱マテリアル株式会社）
- ・ウェット法による結晶系太陽電池モジュールの高度リサイクル実用化技術開発（東邦化成株式会社）
- ・結晶シリコン太陽電池の低コスト分解処理技術の調査／開発（株式会社市川環境エンジニアリング、鹿島建設株式会社、株式会社ホンジョー）
- ・可溶化法を用いた使用済み太陽電池からの資源回収技術の開発（株式会社エヌ・ピー・シー、独立行政法人産業技術総合研究所、株式会社日本スペリア社）
- ・太陽光発電リサイクルにおける国内外動向および評価手法に関する調査（みずほ情報総研株式会社）
- ・太陽光発電リサイクル動向に関する調査／検討（株式会社三菱総合研究所）